

財政



松原市マスコットキャラクター



平成29年度の決算状況

市では、市民の皆さんに財政状況をわかりやすくお知らせするために、毎年6月と12月に財政事情を公表しています。

今回は、平成29年度の決算の状況についてお知らせします。

決算は、1年間に皆さんが納められた市税や国・府からの補助金などがどれくらい入ってきて、どのように使ったかという結果報告です。

▼問合せ 財政課 (☎3334・1550代表)

黒字決算となりました

平成29年度の一般会計の決算額は、歳入が451億5976万5千円、歳出が450億2968万7千円となり、平成28年度と比較すると、歳入で△7億7182万8千円(△1.7%)、歳出で△7億9042万3千円(△1.7%)とそれぞれ減少しています。歳入歳出差引である形式収支は1億3007万8千円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源562万1千円を差し引いた実質

収支で1億2445万7千円、単年度収支でも1368万2千円の黒字となっております。

社会保障関連経費の増加に伴い、扶助費や特別会計への繰出金が増加しましたが、市税の増収や公有財産の活用、給料の独自カット、ごみ処理経費の節減など、行財政改革に引き続き取り組んだ結果、実質収支の黒字を堅持することができました。

松原市の決算を「家計」に例えると？

平成29年度一般会計決算を10万分の1にして家計簿を作ってみました。

(なお、端数処理上、調整している項目があります)

松原さんちの家計簿



収支のバランスを見て、まちを良くしていくために必要なお金を使っていくことが大事やねんっ！

※()内は対前月増減

収入		支出	
給料(市税)	137,840円 (1,340円)	食費(人件費)	73,750円 (20円)
パート収入(使用料及び手数料など)	9,910円 (470円)	医療費や学費(扶助費)	151,190円 (3,830円)
親からの仕送り(国・府支出金、地方交付税など)	239,450円 (860円)	ローンの返済(公債費)	47,510円 (△5,330円)
資産運用収入など(財産収入)	4,400円 (2,450円)	光熱水費など雑費(物件費)	45,990円 (△270円)
預金の取崩し(繰入金)	10,270円 (1,880円)	子どもへの仕送り(繰出金)	69,950円 (650円)
先月残ったお金(繰越金)	1,120円 (△1,370円)	家の改修、車の購入(投資的経費)	26,860円 (△14,990円)
ローンの借入れ(市債)	40,660円 (△17,200円)	その他(補助費等、積立金など)	35,050円 (8,190円)
その他(寄附金、諸収入など)	7,950円 (3,850円)		
合計	451,600円 (△7,720円)	合計	450,300円 (△7,900円)

翌月への繰越分 451,600円 - 450,300円 = 1,300円

人件費
市役所で働く職員の給料や議員の報酬など

扶助費
高齢者や障害者、子育て世帯などの生活をサポートするためのお金

公債費
市が借り入れたお金の返済金

物件費
光熱水費や文具などの購入費、事務機器のリース代など

繰出金
一般会計から特別会計に対して支払うお金

投資的経費
公共施設の整備費、自動車など高額な備品の購入にかかるお金

平成29年度
決算額

451億5,976万5千円

《市民1人当たりの市税負担額》11.4万円



平成29年度

一般会計

※()内は構成比、【 】内は前年度増減率



平成29年度
決算額

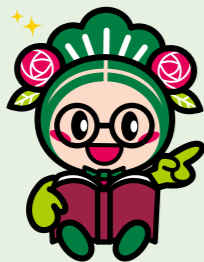
450億2,968万7千円

《市民1人当たりに使われた額》37.3万円

歳入の内訳を構成比順に見ますと、市税が約137.8億円(30.5%)と歳入総額の約3割を占めるほか、国・府支出金が約132億円(29.2%)、地方交付税が約80.8億円(17.9%)となっています。

市税や使用料、手数料など松原市が自主的に得ることができる収入である自主財源は、約171.5億円と歳入全体の約4割弱で、財源の半分以上を国・府支出金などの依存財源が占めています。

市の収入には市税だけでなくいろいろあるんやでっ！



市民の皆さんが納める市税や固定資産税など

▶ **市税**
137億8,417万4千円
(30.5%)【1.0%】

特定の事業のために国・府が交付するお金

▶ **国・府支出金**
131億9,797万円
(29.2%)【0.1%】

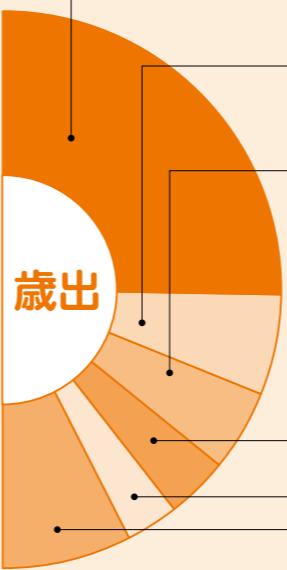
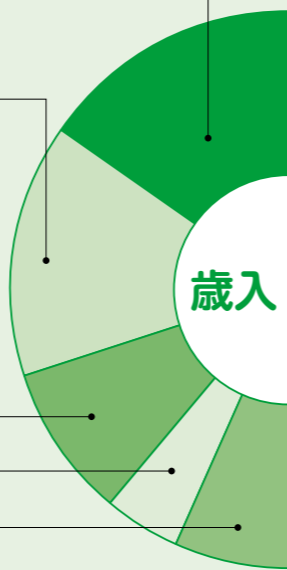
どの地域でも一定の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金

▶ **地方交付税**
80億7,886万1千円
(17.9%)【△0.6%】

大きな事業を行うための銀行などからの借入金

▶ **市債**
40億6,580万円
(9.0%)【△29.7%】

▶ **その他**
60億3,296万円
(13.4%)【16.4%】



民生費
228億9,945万2千円
(50.9%)【△5.2%】

土木費
51億2,306万円
(11.4%)【19.6%】

総務費
43億1,685万6千円
(9.6%)【16.2%】

教育費
33億8,774万7千円
(7.5%)【3.4%】

衛生費
26億7,660万5千円
(5.9%)【△14.5%】

その他
66億2,596万7千円
(14.7%)【△8.8%】

歳出の内訳を構成比順に見ますと、福祉関連に使われる民生費が約229億円(50.9%)と約5割を占めています。平成28年度にまつばらテラス(輝)、第4保育所の建設が完成したことにより、対前年度で5.2%減少しました。

次に道路や公園の整備に使われる土木費が51.2億円(11.4%)、市役所の運営などの総務費が43.2億円(9.6%)、学校教育などに使われる教育費で33.9億円(7.5%)となっています。

市民1人当たりに使われた額の内訳

民生費

高齢者や障害者・子どもなどの福祉に



約19.0万円

土木費

公園・道路などに



約4.2万円

総務費

住民票申請・広報広聴などに



約3.6万円

教育費

学校教育や生涯学習などに



約2.8万円

衛生費

地域保健・ごみ処理などに



約2.2万円

※各項目についての計数は表示単位未満を四捨五入したため、合計と一致しない場合があります。

2 基本目標

市民誰もが健やかに暮らせる和らぎのまちづくり

健康、福祉、医療など、総合的な地域福祉を確立し、穏やかで和らぎを感じられるまちづくりを行いました。

- まつばらテラス(輝)活用事業
- 子どもの通院医療費の助成拡充
- レディースドックの創設
- がんドックの休日実施
- 特定不妊治療助成
- 介護予防・日常生活支援総合事業
- 認知症総合支援事業
- ロタウイルスワクチン接種費用助成
- 小児休日急病診療事業
- 臨時福祉給付金給付事業
- 老人福祉センター空調機改修(弁天苑)
- 認知症対応型グループホームなどの施設整備・開設準備への助成



3 基本目標

未来を拓く自立心を育む人づくり

安心して子どもを育てることができるよう、子育て、保育、教育など、多方面からの支援体制を整えました。

- インターナショナルセーフスクール国際認証の同時取得(第3中・布忍小・中央小)
- みつばち保育園の建替助成
- 学校ICT機器等整備事業
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 国際化教育推進事業(中学生の台湾派遣)
- 天美北小学校大規模改造事業
- 各小中学校トイレ改造事業
- 第四中学校間仕切り安全対策改修事業
- 学校クラブ活動活性化事業
- 電子書籍サービス事業



4 基本目標

利便なまち、元気で活力あふれるまちづくり

高速交通の利便性を活かした企業誘致と、各種イベントの実施によりにぎわいを創出し、活気に満ちたまちづくりを行いました。

- 松原市PR事業(ラッピングトラック・ベルサイユのばらイベント)
- 地産地消普及促進事業(まつばらマルシェ)
- 企業立地促進事業
- 観光事業(市内由緒看板の多言語化など)
- 商店街防犯カメラ設置および維持管理費補助
- 河内松原駅前商業施設改修事業
- 婚活イベント実施事業
- ふるさと応援感謝事業
- 地元特産物等輸出支援事業



5 基本目標

市民と行政の協働によるまちづくり

市民が主役のまちづくりを進めていくことができるよう、市民協働のしくみ作りに努めました。

- 第5次総合計画策定事業
- 消費者対策事業(自動通話録音装置の無償貸与)
- 活力ある地域づくり助成事業(だんじり・太鼓などの修繕費助成)
- 国際交流事業(英語圏 ムーニーバレー市に高校生を派遣)
- 広域観光事業(台湾でのセールスコールなど)
- ぐるりん号の4ルート運行の開始
- 「はーとビュー」の日・祝日の開始
- 地域公民館助成事業



平成29年度会計別歳入歳出決算

(単位はすべて千円)

会計区分	歳入	歳出	差引	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	451億 5,976万 5	450億 2,968万 7	1億 3,007万 8	562万 1	1億 2,445万 7
特別会計					
国民健康保険	179億 5,458万 7	203億 133万 7	△ 23億 4,675万	0	△ 23億 4,675万
下水道事業	62億 1,477万 8	64億 9,347万 8	△ 2億 7,870万	7万 1	△ 2億 7,877万 1
介護保険	108億 506万 2	106億 1,926万 4	1億 8,579万 8	0	1億 8,579万 8
後期高齢者医療	16億 6,057万 9	16億 2,842万	3,215万 9	0	3,215万 9
財産区	20億 4,814万 9	4億 8,533万 5	15億 6,281万 4	0	15億 6,281万 4
合計	838億 4,292万	845億 5,752万 1	△ 7億 1,460万 1	569万 2	△ 7億 2,029万 3

事業区分	収入	平成29年度決算額		差引	平成30年度現計予算額	
		収入済額	支出済額		前年度繰越金を含む	収入
水道事業	収益的収支(税抜き)	24億 6,941万 2	20億 6,624万 4	4億 316万 8	収入	26億 4,060万
	資本的収支	1億 7,180万 1	5億 6,642万 3	△ 3億 9,462万 2	支出	23億 4,690万
土地開発公社	収益的収支	2億 5,423万 5	2億 4,981万 9	441万 6	収入	5,090万
	資本的収支	15億 546万 9	17億 5,822万 1	△ 2億 2,755万 2	支出	9億 9,180万
	収入				収入	1億 1,836万 7
	支出				支出	1億 2,134万 4

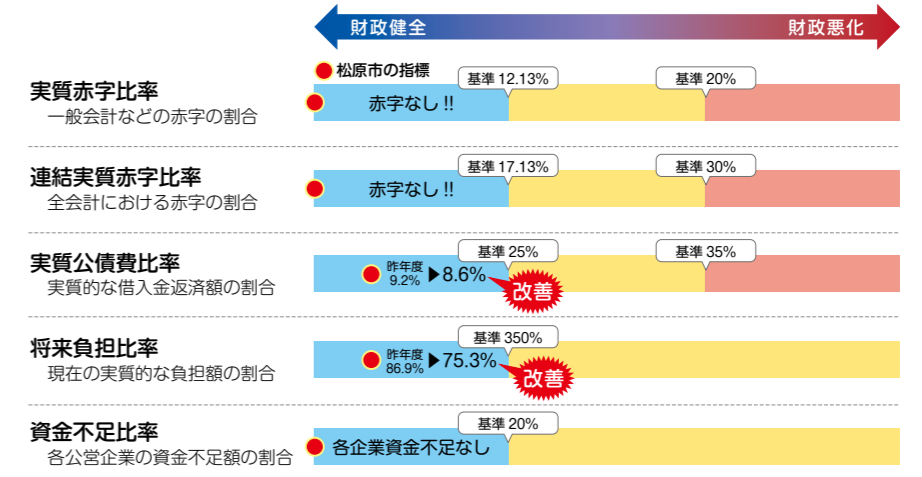
松原市の財政状況

平成29年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

健全度は?

平成29年度の決算を基に自治体の健全度を示す全国共通の指標、「財政健全化判断比率」を算出しました。本市は、いずれの指標も昨年度の数値から改善するなど、健全財政を堅持しています。

- 健全団体
- 早期健全化団体 ※資金不足比率のみ「経営健全化団体」
- 財政再生団体



平成29年度の主な取り組み

市がめざす将来都市像「挑戦し続ける 元気あふれるまち まつばら」の実現に向けて、5つの基本目標に沿って取り組んできました。ここでは主なものを紹介します。



1 基本目標

安心して住み続けることができるまちづくり

地域性を活かした計画的な土地利用により、安心・安全、快適な居住環境作りに努めました。

- セーフコミュニティ推進事業
- 感震ブレーカー購入費助成
- 高齢者自転車用ヘルメット購入費助成
- 可燃ごみの共同処理の実施
- 不燃物・粗大ごみ処理事業
- 空き家対策事業



- 道路新設改良 (仮)天美東109号線道路新設 松原駅前歩専1号線道路改良
- 歩道設置事業 新堂南線歩道整備
- 天美地区土地区画整理事業
- 新堂地区まちづくり事業